

rivière vol.46

リビエール
武庫川女子大学通信



Mukogawa Women's University, Mukogawa Women's University Junior College Division

2021
WINTER



This is ME! 夢のムコガワ
大学院文学研究科日本語日本文学専攻
修士課程 修了
尾崎有以さん

薬学部に
新型コロナウイルス
PCRセンター設置

巻頭特集

文化祭・体育祭の 今とこれから



CONTENTS

3

巻頭特集

文化祭・体育祭の 今とこれから

学友会 文化祭実行委員会

生活環境学部 情報メディア学科3年 川村 穂乃歌 さん

学友会 体育祭実行委員会

健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科3年 杉本 茉衣 さん

8

研究よもやま話

文学部 日本語日本文学科 教授 狩野 雄 先生

看護学部 看護学科 准教授 早川 りか 先生

10

湊かなえの「ことば結び」 みんなで短編小説

12

武庫川TOPICS

キャンパスの情報を紹介します!!

16

アメリカ分校 オンライン留学を体験して

18

薬学部に 新型コロナウイルス PCR センター設置

19

OGに聞く This is ME! 夢のムコーガワ

日本語教師 尾崎 有以 さん

20

武庫川就職掲示板

コロナ禍の就職活動の現状と、
キャリアセンターの取り組みについて

22

学生・生徒の活躍

華々しい受賞結果をご報告

23

HONTANA

リビエール ブックセレクション

Book Center

CULTURE RANKING

売れ筋ランキング

rivière リビエール 武庫川女子大学通信 Vol.46 2021 WINTER (2月)

●発行/武庫川学院 ●編集/武庫川学院広報室
●企画デザイン協力/大和出版印刷、くとうてん

rivière vol.46

Mukogawa Women's University,
Mukogawa Women's University Junior College Division



今号の表紙

2019年10月に開催された、学院創立80周年記念武庫女祭から、学生たちの表情をピックアップしました。

2020年、中止になった文化祭・体育祭の実行委員長が、新たな形での開催に期待を寄せています。

Editor's note



コロナ禍の1年、ほとんどの行事・イベントが中止となり、文化祭、体育祭、アメリカ分校への留学、就職活動など、これまでとは全く違う取り組みが必要となりました。

文化祭・体育祭の実行委員長は、伝統の継続をどうつなげるか、オンライン開催で何ができるか、これまで以上のものにするために今始められることはないかを考え、実現に向け行動をしています。

それぞれが今できることを実施し、今後に向けて考える。しなやかな行動が求められる中、「一生を描ききる女性力を。」を磨くチャンスととらえ、力を蓄えたいと思います。

文化祭・体育祭の 今とこれから

コロナ禍での新しいチャレンジと、
受け継がれる伝統。

武庫川女子大学で半世紀以上続く行事に文化祭と体育祭があります。2019年は本学院80周年を記念して10月に「武庫女祭」として同時開催されました。しかし、コロナ禍に見舞われた2020年、2つの行事は中止に。イベントとしては何もできませんでしたが、その水面下で、実行委員会のメンバーたちは受け継がれてきた伝統行事を次の代につなぐため、「今できること」を考えるとともに、「コロナ以降の取り組み」についても考察。その具体的な内容と、学生たちが考えた新たな文化祭・体育祭に向けたチャレンジについて報告します。



文化祭・体育祭の今とこれから

コロナ禍での新しいチャレンジと、受け継がれる伝統。

学友会
文化祭
実行委員会

文化祭中止による空白を埋め、
伝統を継承するとともに新たな価値を生み出す。

新型コロナウイルスによる影響で10月に開催予定だった第65回文化祭が中止となりました。その経緯や伝統の継承をはじめとする次年度の文化祭に向けての取り組みについて、文化祭実行委員長の川村穂乃歌さんにお話を伺いました。

週1回の全体ミーティングをオンラインで継続的に開催

例年であれば4月から文化祭実行委員会の各パートが準備を始めますが、今年度は登学ができなかったため毎週1回、オンラインでミーティングを行っていました。5月に入った頃に、顧問の先生から「おそらく文化祭の開催は難しいだろう」と言われ、オンライン文化祭の可能性も示唆されました。その後、6月上旬に正式に中止が決定。昨年度の文化祭が台風で1日中止になったこともあり、「もう一度、きちんと文化祭に携わりたい」という気持ちが大きかっただけに、本当に残念で悔しかったです。

時期をずらして、1日だけでも開催できないか模索しましたが難しく、オンライン文化祭も今期に行うのは困難でした。全て中止となると1年間の空白にプラスして、昨

年度の文化祭が体育祭と合同で行われた特殊な開催だったこともあり、次の代の後輩たちがまったくのゼロからの状態でスタートすることになってしまっています。そこで、7月以降のミーティングでは来年度の文化祭に向けた取り組みについて話し合うことになりました。

来年度の文化祭を見据え、オンライン文化祭の可能性を探る

来年度は通常開催かオンライン、どちらかで開催することになるので、まず考えたのが「オンラインだったらどんなことができるのか？」についてです。例えば、演劇や演奏などの舞台演目のオンライン中継やバザーのネット通販、毎年行っている子ども企画のWEB版ということなどで「折り紙教室」「絵本の読み聞かせ」の動画コンテンツの配信など、

様々な意見が出されました。一方で、通常開催にも備え、広いスペースで間隔をとって展示などができるように考えたり、「ゲストトークショー」「お笑いライブショー」は定番として継続したいと、窓口となる企業や依頼の時期など引き継ぎに必要な情報を後輩たちに伝えたりしました。

企画を考え、実現するために取り組んでいる時間がかかると楽しく

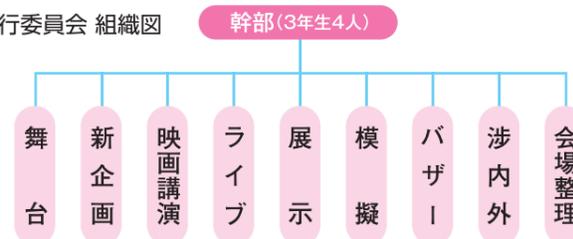
不測の事態の連続でミーティングもオンライン中心でしたが、無事に12月に後輩たちにバトンを渡し、代替わりすることができました。新たに1年生が入ってきてくれるのかという心配もありましたが、活動内容をまとめた動画（総務委員会作成）を見て、立候補者がたくさんあり、その点は杞憂に終わりました。



2019年度の文化祭風景



文化祭実行委員会 組織図



文化祭実行委員会の全メンバーは約90人。9つのパートに分かれて運営しています。川村さんは2年生の時に渉内外パートに所属。主な仕事は文化祭のパンフレット制作でした。漫画研究部に所属していて、表紙のイラストも手掛けました。



毎年学生が主体となって趣向を凝らす文化祭。各時代のテーマとパンフレットを振り返ってみました



15回 1970
テーマ 懐疑からの創造



20回 1975
テーマ 創造への誘い



25回 1980
テーマ 協創



30回 1985
テーマ 目覚めよ! 1万人の感性



35回 1990
テーマ 私らしくあなたらしく



40回 1995
テーマ 拍手喝祭
— 鳴りやまぬ感動



45回 2000
テーマ ミレニウム☆プレミアム
— 文化祭を楽しむ2000の方法



50回 2005
テーマ 一世風”美”
— 50ing My Way



55回 2010
テーマ MJ70年の意志を継いで
— This is it!



60回 2015
テーマ Girls, be ambitious !!
— 60年の感謝を胸に伝統を刻め



64回 2019
武庫川学院 創立80周年記念 武庫女祭
テーマ 新たな一歩
— Girls' Innovation

文化祭・体育祭の
今とこれから
コロナ禍での新しいチャレンジと、
受け継がれる伝統。

学友会
体育祭
実行委員会

新たな体育祭の実現に向けて 情報発信に取り組む。

新しい競技を加えた体育祭を企画する中で、体育祭の中止が決定。体育祭実行委員会は、体育祭の伝統である「応援合戦」「コスチューム」の動画配信と体育祭専用サイトの立ち上げに取り組みました。詳細を、体育祭実行委員長の杉本茉衣さんに伺いました。

新しいプログラムとして、 未来の運動会とeスポーツを提案

2019年は文化祭と体育祭が合同で10月に開催され、体育祭実行委員会の引き継ぎも例年より遅い11月に行われました。

委員長になってまず考えたのは、「どうせやるなら新しいことに取り組みたい」ということ。伝統ある「応援合戦」と「コスチューム」にプラスして、何か新しい競技をやりたいと考え、顧問の先生に相談した時に、「提案いただいたのが、自分たちで考えた競技に取り組みたい」という運動会プロジェクト^{※1}です。未来の運動会の運営団体に所属する先輩を先生から紹介され、お話を伺う中で、武庫女ならではのオリジナル競技について考えました。

もう一つがeスポーツ^{※2}です。こちらもその分野に詳しい情報メディア学科の先生にまずは話を伺い、どういった競技が実現可能で、

学生の興味を引くかといったことについて議論を交わしました。

「応援合戦」「コスチューム」の動画を ネット上にアップして広めたい

未来の運動会とeスポーツを軸に、新しいプログラムの策定を目標に会議を進めていきましたが、年が明け2月頃から新型コロナウイルスの影響が始め、3月には体育祭の中止が決定しました。今できることは何かかと考え、その時に出てきたのが過去の「応援合戦」「コスチューム」の映像のデジタルアーカイブ化と、体育祭の公式サイト・SNSの立ち上げです。

学科対抗の「応援合戦」「コスチューム」は武庫女の体育祭で受け継がれている伝統行事ですが、参加者以外の学生にはあまり知られていません。インターネットで検索して

もあまり情報が出てこず、それなら自分たちで情報発信の場を作ろうと思ったのがきっかけです。第30回(1994年)の体育祭から歴代の「応援合戦」「コスチューム」の映像がVHS、DVDで残っており、それらの動画を編集し、学内はもとよりYouTubeにアップして広く学外にも発信していければと考えています。できれば全ての動画を学内向けに公開できればと思います。

体育祭専用サイトを通じて、 伝統の継承をサポートする

来年度も通常での開催は難しく、現在後輩たちが進めているのがオンライン体育祭の準備です。ただ、オンラインでの開催となった場合、今年度の中止に続き、2年連続でリアルな体育祭が行われないことになり、ます。「応援合戦」「コスチューム」は1年の時に参加した2年生の有志が残り、翌年入学した新入生を勧誘して指導を行うわけですが、今年度の1年生は演技を体験していません。その継承の問題に関しては各学科に委ね、体育祭実行委員会としては専用サイトを作ることで各種の活動をサポートできればと考えています。

大学に体育祭があること自体が珍しく、その中で伝統的に受け継がれている行事があることが、すこし「いいことだな」と思いました。私自身がそうでしたが、実際に参加してみて、友達との出合いやみんなと力を合わせて頑張った思い出など、得るものは本当に大きかったです。一人でも多くの学生に参加してもらいたいですし、現在制作中のサイトを通

じて、広報活動に多少なりとも貢献できればと思います。そして伝統行事とともに、サイト自体も後輩たちに受け継がれていくようにしたいですね。例えばSNSでは参加型の企画にして、体を動かすこともできると思っています。先生方も企画を否定することなく、提案や挑戦を受け入れてくださるので、学生が自主的に参加できる体育祭をこれからも存続していきたいです。

※1 未来の運動会プロジェクト

一般社団法人運動会協会が運営。運動会の競技を行う「運動会ハッカソン」とそのイベントで構成され、日本各地の主催者と協力し実施されてきたプロジェクトです。

※2 eスポーツ

エレクトロニック・スポーツ (Electronic Sports) の略称。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使ったスポーツ競技のことを指します。



2019年の体育祭「応援合戦」の一幕。

「コスチューム」の舞台。

「応援合戦」「コスチューム」の 魅力を伝える動画を編集・公開

第30回の体育祭から歴代の「応援合戦」「コスチューム」の映像がVHS、DVDで残されています。30回、35回、40回、45回、50回そして最後に体育祭が行われた2019年の55回の全6回分の動画をデジタル化した上で編集し、5年ごとの変遷が見られる動画として公開予定。体育祭のサイトに掲載できればと考えています。



来年の体育祭に向けて準備する体育祭実行委員会のメンバー



過去の体育祭のVHS・DVDなど



武庫川女子大学
体育祭実行委員会の
Instagram がスタート!!



https://www.instagram.com/mwu_taizitsu/

健康・スポーツ科学部
健康・スポーツ科学科3年
杉本 茉衣さん
香川県立高松桜井高校出身



看護師、訪問看護師としての臨床経験をもとに、その仕事の魅力を学生に伝える。西宮市や地域の訪問看護ステーションと連携し、自宅での看取りやACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及活動にも尽力する。

PROFILE

早川 りか先生

看護学部 看護学科 准教授

大阪大学医療技術短期大学部看護学科卒業。武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科博士後期課程修了。大阪大学医学部附属病院、大阪大学健康体育部保健センターに看護師として勤務した後、大阪市内の訪問看護ステーションへ。看護専門学校教員、藍野大学専任講師、准教授を経て、2019年より本学に就任。



訪問看護師の移動中の交通事故について研究

患者さんのケアはもちろん、対人援助に関わる看護師のケアについて考えたい。臨床にいた頃からその問題意識を持っており、科学研究費助成事業として「訪問看護における移動中の交通事故に関する研究」に2018年から取り組んでいます。全国の訪問看護ステーションへのアンケート調査を行い、地域特性として北海道や東北など雪の多い地域は自動車のスリップ事故、自転車での移動が主となる都市部では雨の日のマンホールの上でのスリップ事故などが多いことがわかりました。いずれのケースも、利用者さんの家から家へ移動する

地域と連携し、ACPの普及活動にも取り組む

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

際の「時間の逼迫」が要因となっており、事故に遭っていない方もほとんどの人がヒヤッとした経験があるという事実も見えてきました。

現在はお一人ずつ丁寧に話を掘り下げるためインタビュー調査に取り組み、最終的にはアンケート結果と併せ冊子としてまとめる予定です。今回の調査で改めて現場の切実な声を目的の当たりし、より良い職場環境の実現に向け、研究の成果が少しでもお役に立てればと考えています。

「美」という漢字は、漢文学を学ぶことによって、相対的に日本語のことがよく見えてくる場合があります。例えば、「美」という漢字はひつじへんに「大」と書き、もともとは「美しい」という意味で使われ、味覚の感動を表す言葉でした。今では視覚的にきれいなものに対して「美」を用い、「美味しい」は当て字と思われがちですが、実は逆で「食の感動」の方が本来の意味だったわけです。こうしたことに中国古典の作品を通じて出会うと、言葉に対する認識が揺さぶられ、「美しい」という言葉が奥行きを持って受け止められるようになります。

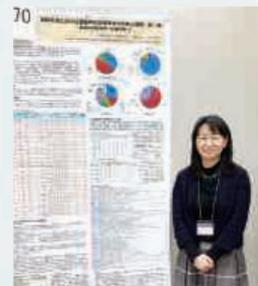
漢詩文を読む時と同じで、一つの言葉と丁寧に向き合い、辞書的な意味に留まらない字義の広がりを感じ、自分なりに作品の深部に触れられた時に大きな喜びを感じます。学生の皆さんもそうした多様な層を成している言葉と対峙する時に、言葉を奥行きのあるものとして、捉えてほしいと思っています。その先に作品を解釈していく上で、「我々が世界をどのように認識しているのか」といったことを考える、手掛かりのようなものがあるのかもしれない。

シンキング」という言葉をご存知でしょうか?「人生会議」とも言われ、もしもの時のために自身が望む医療やケアについて、前もって家族や医療・ケアスタッフと話し合いの場を持ち、共有するという取り組みです。その推進活動を地域団体の「訪問看護ステーションネットワーク西宮」と一緒に、毎年シンポジウムを開催しています。近年ご自宅での看取りの件数も増えてきており、その背景には訪問看護のケアの確立、訪問看護師の技術の向上などがあり、少しずつですがACPが浸透している手応えも感じています。今後も精力的に活動を続けていきたいですね。

学生さんに伝えたいのは、患者さんのストーリーを大切にすること。今ケアが必要な部分だけを見るのではなく、その人の生活や歴史にもしっかりと目を向け、ケアをできる看護師を目指してほしいです。昨日より体調がいいねとか、ご飯がしっかり食べられたねとか、患者さんのちょっとした変化を一緒に喜べるのが看護師のやりがいだと私は感じています。患者さんのストーリーを知り、多くの人に関わる看護師は、人としても大きく成長できる仕事だと思います。



看護学部キャンパスのすぐ近くにあり、2020年4月にオープンした武庫川女子大学訪問看護ステーション。立ち上げの準備段階から関わらせていただきました。



「訪問看護における移動中の交通事故に関する研究」の学会発表。アンケート調査の自由記述欄や別途いただいたお手紙など、受け取った現場の切実な声を研究成果につなげ、広く報告できればと考えています。



DVDの配布も行っています!

2011年より毎年開催している市民講座「訪問看護師と考える看取りのシンポジウム 家での看取りを語ろう」。2020年はコロナ禍の影響で中止になりましたが、関係者による座談会を収録した動画を西宮市のHPで公開しています。

2月にYouTube公開予定
<https://www.youtube.com/user/nishinomiyashilTV>

PROFILE

狩野 雄先生

文学部 日本語日本文学科 教授

東北大学文学部卒業。東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。東北大学大学院文学研究科助手。相模女子大学学芸学部日本語日本文学科専任講師、准教授、教授を経て、2019年、本学に就任。漢文学と漢字の魅力伝える。

中国古典の詩文に出てくる香り、匂いの表現を探究

中国古典文学を専攻し、三国志の時代を挟んだ前後300年の漢魏晋南北朝時代の作品を対象に研究しています。この十数年来取り組んでいるのが、中国古典詩文の中の香りや匂いの表現についての考察です。現在、「香氣」や「臭気」など香り・匂いを表すのに「氣」の漢字を用いますが、この表現が出てくるのが三国志の時代。魏の曹操の息子である曹丕、曹植の兄弟が意識的に使い始めました。その時代よりも前の文学作品では、香りが強いとか弱いという表現に留まっていたのが「どのよう



るかに言及されるようになり、「存在するけど目に見えない」香り・匂いを表す言葉として「氣」が用いられました。

歴史的な背景を見ると、後漢の中期に西方から中国に香料が輸入されるようになり、三国志の時代に広がりしました。そうした香料が詩文の題材となり、曹丕が中心となった文学サロンの中で詠まれたわけです。例えば、ロースマリーは「迷迭」という名で登場し、「孔雀のような」と形容され、そこに「氣」の字も出てきます。物珍しい外国産の香料と文学的に優れた兄弟との出会いがあり、新しい表現が生み出されたわけです。

漢詩文を読む時と同じで、一つの言葉と丁寧に向き合い、辞書的な意味に留まらない字義の広がりを感じ、自分なりに作品の深部に触れられた時に大きな喜びを感じます。学生の皆さんもそうした多様な層を成している言葉と対峙する時に、言葉を奥行きのあるものとして、捉えてほしいと思っています。その先に作品を解釈していく上で、「我々が世界をどのように認識しているのか」といったことを考える、手掛かりのようなものがあるのかもしれない。

「美」という漢字は、食の感動を表す言葉だった!?

漢文学を学ぶことによって、相対的に日本語のことがよく見えてくる場合があります。例えば、「美」という漢字はひつじへんに「大」と書き、もともとは「美しい」という意味で使われ、味覚の感動を表す言葉でした。今では視覚的にきれいなものに対して「美」を用い、「美味しい」は当て字と思われがちですが、実は逆で「食の感動」の方が本来の意味だったわけです。こうしたことに中国古典の作品を通じて出会うと、言葉に対する認識が揺さぶられ、「美しい」という言葉が奥行きを持って受け止められるようになります。

漢詩文を読む時と同じで、一つの言葉と丁寧に向き合い、辞書的な意味に留まらない字義の広がりを感じ、自分なりに作品の深部に触れられた時に大きな喜びを感じます。学生の皆さんもそうした多様な層を成している言葉と対峙する時に、言葉を奥行きのあるものとして、捉えてほしいと思っています。その先に作品を解釈していく上で、「我々が世界をどのように認識しているのか」といったことを考える、手掛かりのようなものがあるのかもしれない。



中国南北朝時代に編纂された詩文集「文選」。大学時代の演習で、漢字の海と必死で向き合ったのが、私が中国古典文学の面白さに触れた最初でした。



奈良：唐招提寺

本学就任に伴い、高校以来ふりとなる関西に。生まれ育った奈良から阪神なんば線に大学に通い、今は休日のお寺巡りを趣味にしています(まだあまり行けていませんが…)



台湾：阿里山竹林野点

趣味は台湾旅行で、コロナ禍になるまでは毎年のように行っていました。時には茶農家を訪れることも。

湊かなえの「ことば結び」

みんなで短編小説

本学の卒業生で、小説家の湊かなえさんがDJを務めるラジオ番組、「湊かなえの『ことば結び』」が2020年6月にFM大阪で始まりました。同番組のメインコーナーの一つ「みんなで短編小説」に本学学生5人が作品を応募。番組内で湊さんにご講評いただくとともに、学内で行われた収録(2020年10月28日、11月4日放送)にも参加しました。



左から、湊かなえさん、瀬口和義学長、番組アシスタントで本学卒業生の塩田えみさん。



今回の収録では、湊さんと瀬口和義学長との対談も実現。湊さんは瀬口研究室の出身で、在学中の湊さんのエピソードや卒業論文の話など、思い出話にトークは盛り上がりました。



湊さんとの記念撮影。有名作家の先輩を前にして学生たちは緊張の面持ちでしたが、アドバイスや励ましのメッセージをいただける貴重な時間となりました。

「みんなで短編小説」とは…。

リスナーの皆さんから、湊さんの執筆した物語に続く作品を募集し、毎月1作ずつ発表していきます。テーマは、猫の生まれ変わりを経てつながる「あなたとわたしの物語」。

今回の誌面では、学生の応募作のタイトル、あらすじ、そしてご本人の感想を掲載しています。



湊かなえの「ことば結び」番組ホームページ
(https://www.fmosaka.net/_sites/16783551)

小学生の頃から小説を書くのが趣味でした。最近はまだ書いていませんでしたが、今回の企画を知り、「湊かなえさんに自分の小説を読んでいただけませんか」という期待感とともに、しばらく溜め込んでいた小説を書きたいという気持ちが出てきて、気がついたら応募作品を書き始めていました。どうすれば面白く読んでもらえるかを考えながら何度も推敲を重ねた分、時間も労力もかかりましたが、完成した時の達成感は大きかったです。湊さんからは、「短編小説リレーの意図をきちんと理解してくれている作品だ」とご講評いただきました。大きな物語の中の一つの作品だということに意識して書いていたので、褒めていただけに本当にうれしかったです。



「Ma bien aimée(マビエンヌ)」

舞台は近世ヨーロッパ。灰色のぶさいくな猫は宮殿の二室で、結婚を控えた少女ルヴィエと出会う。「この結婚は、父親が自身の政治に利用するために行われるのだ」と泣く彼女を励ますため、猫は、とある場所へと連れていく…。

文学部 日本語日本文学科2年 上堀内 愛理さん 武庫川女子大学附属高校出身

「短足猫と武士の卵」

ある神社の庭で、一人剣道の練習を行う子どもがいた。ふと見上げると、境内にある木の上で短足の猫が体格の大きな猫といがみ合っていた。子どもはその光景に、周りと比べ、手足の短い自分と短足猫の姿を重ね合わせるのだった。

中学の時から小説を書くのが趣味で、文芸部に所属。大学生になり、小説を書く機会が減ったため、この機会にまた書いてみようと思い応募しました。改めて見直してみると、2000字の中に詰め込む内容が薄かったと反省しています。また湊さんからご指摘を受け、注目してほしいと思って「短足猫」よりも、「体格の大きな猫」の説明に力が入っていたことに気付かされました。小説はいつもノートに書いて満足していたので、投稿するのは初めての経験。どう評価されるのかわかりませんが、湊さんに講評していただき、自分の小説を外に出すというのに少し自信を持つことができました。文章力を磨き、これからも小説を書いていきたいと思っています。



文学部 日本語日本文学科3年 福富 和沙さん 大阪府・大谷高校出身



「私の世界は素晴らしい」

耳が聞こえない少女は、妹から猫を飼いたいと提案を受けるが「猫は嫌い」と断ってしまう。耳が聞こえない代わりに花や石など自然の音が聞こえる少女は、なんと、猫の声も聞くことができるのだった。

プロの、しかも好きな小説家の方に自分の作品を読んでいただき、評価をいただけるのは機会がめったにないと思いついて応募しました。私自身は猫が特別好きというわけではなく、書き始めるまでは苦勞しましたが、「猫が嫌いなこと」を強みにして主人公と自分を重ね合わせるとストーリーがどんどん出てきて書くのが楽しかった。また、たった一言でもどちらの言い回しがいいかなと迷いながら書くのも新鮮でした。湊さんからは、「設定が今までの応募作品の中で一番面白い」という講評をいただき、とてもうれしかったです。もっとこうしたら良いという具体的なアドバイスもあり、やる気も出ました。読者の視点を常に意識しながら、今後も小説を書いていければと思います。



文学部 日本語日本文学科3年 榎元 美歩さん 広島市立舟入高校出身



「待ち人に幸せを」

京が焼け野原になってから数年、ちりをあさる鯖猫を叱りにきたのは、美しいかんとしを挿した女だった。その日から、飢えを凌ぐために鯖猫は彼女の元へ通い、小さな幸せを積み重ね始める。しかし、彼女にはある残酷な悩みがあつて…。

湊かなえさんの小説が好きで、直接お話を伺いたいと思い小説を応募しました。短編小説を書くのは初めてで、物語の構成や言葉遣いを考えるのも難しかったのですが、何より作品の長さを規定の文字数



「無題」

「こそ」は元野良猫ながら、綺麗な容姿をしていておしとやかな猫。その「こそ」と、女学校に通うおてんばな女の子「千代子」のお話。

小説にチャレンジするいい機会だと思いい、作品を応募してみました。おてんばな主人公「千代子」と、けんかを仕掛けられてもやられっぱなしのおしとやかな性格の「こそ」。そんな「こそ」のを見て千

代子はふがいないと思いますが、「自分にもこそにも得意なものや苦手ものがある」と千代子が気付くというお話を書きました。湊さんの講評では、得意・不得意がそれぞれにあるというところから、こそぞの成長を見て自分も頑張ろうとか、逆に私が先に頑張ったところをこそぞに見せて励ましてあげるとか、「苦手な部分をきちんと受け止める」という表現でできていると、完成度がアップしたのではないかとご指摘をいただきました。今回、湊さんに自分の作品を読んでいただき、小説の向こうに読み手がいることを感じる事ができました。次回からは読み手をさらに意識して書いてみたいと思います。

武庫川TOPICS

#46

学園全体のニュースを知るにはこのページをチェック! キャンパスの情報を紹介します!!

景観1年生が初めての設計に挑戦しました!



原寸大の模型を敷地に置いて建物の大きさを体感



学生の作品

2020年度後期から一部、対面授業が始まり、景観建築学科1年生は設計基礎演習の課題「東屋と花と樹木の小庭園」に取り組みました。測量学実習では、上甲子園キャンパス内に設定された課題敷地を調査し、既存樹木の特徴を生かしながら美しい花の咲く庭園と、それを楽しむ東屋を設計しました。教授 杉浦 徳利・曾和 治好・米田 浩二・上町 あずさ (大学 景観建築学科/大学院 景観建築学専攻)

景観建築学科新校舎が建設中です!



PC床版架設工事見学の様子

2018年度より建築学専攻の教員と大学院の学生が協働して、景観建築学科新校舎二棟の実施設計に取り組んできました。建築スタジオのデザインを継承する景観建築スタジオ西館の工事現場では、授業の一環として、長さ約13mもあるプレキャストコンクリート床版の架設工事見学を行いました。教授 岡崎 基幸・鳥巢 茂樹、准教授 猪股 圭佑・森本 順子、講師 山口 彩、助教 田中 佑奈、助手 船戸 理磨子 (大学 建築学科/大学院 建築学専攻)

第35回甲子園会館の音楽會



ステージ上での集合写真

2020年10月25日、甲子園会館西ホールにおいて「第35回甲子園会館の音楽會『武庫川コンサート』」が開催されました。音楽学部在学生在が主体となり企画を行う「武庫川コンサート」は今年で9年目となります。音楽学部ホームページより当日の演奏動画を発信しています。彩り豊かな調べを、どうぞご覧ください。講師 松浦 伸吾 (大学 演奏学科、応用音楽学科)

経営学部の学生、起業プロジェクトに挑戦!

「親子の世界をひろげるサードプレイス」プロジェクト(lavieestbelle株式会社)に経営学部の学生2人が参加しています。実践学習の一環として、事業設計と調査活動、マーケティング、クラウドファンディング、広報、運営等に関する幅広い業務を体験していきます。12月のオープンまでに複数回の体験イベントも行われました。



体験イベントのチラシ作りに挑戦

講師 黄 婷婷 (大学 経営学科)

教育研究所ホームページをリニューアルしました!



臨床教育大学院生、対面とオンライン利用の授業風景



教育研究所の4つの研究部門(臨床教育学、子ども発達、地域・社会教育連携、大学教育)の部門体制図を掲載し研究成果や活動報告をわかりやすくしました。さらに4つの部門の研究成果は、学院の教育に還元されるとともに、様々な形で社会にも発信されています。又、研究所を母体とする臨床教育学研究科院生の実践研究にも役立っています。助手 高原 ひろみ (教育研究所)

武庫川女子大学薬学部PCRセンターを設置しました

新型コロナウイルス感染拡大に対する学生や教職員の不安を解消し、新しい生活様式に沿った安心安全な教育環境を確立するため、薬学部内にPCRセンターを設置することを決め、10月29日に記者会見を行いました。PCRセンターは、11月2日にキックオフを迎え、薬学部の教員、学外実習などで検査を急ぐ必要性のある学生から検査をスタートしました。将来的には、同窓の方にも利用していただけるよう体制を整えていきます。教授 森山 賢治 (大学 薬学科/健康生命薬科学科)



記者会見の様子

看護学科でミニ文化祭!!



優勝したトラベルポスター

体育祭に加え文化祭までも中止になった今年、1年生は初めての大学生活、せっかくなので初期演習IIでミニ文化祭を開きました。グループに分かれ、ポスターや動画づくりにいそしんだこの2週間、どのグループの出し物もステキでした。お待ちかねのビンゴタイム、豪華(?)賞品目指して真剣!楽しいひとときとなりました。講師 田丸 朋子 (大学 看護学科)

共通教育懇談会、初のオンライン開催!



懇談会別室風景

中止も検討された共通教育懇談会ですが、「今こそ歩みを止めてはならない!」と、初のオンライン開催に踏み切りました。ICTサポート付き別室からのご参加も含め、総勢44名もの先生方とオンラインでつながることができました。withコロナ時代でも足踏みすることなく、今後もあらゆるチャレンジをしていきます。准教授 木村 麻衣子 (共通教育部)

日文学科の近世文学のゼミ生、卒論で原典資料を出版



調査研究にあたった管ゼミの山口花奈さんと山本悠衣さん

近世和本研究で木版印刷の原典資料に取り組む大日の管ゼミは、今回学会にも未紹介の歌集『朽葉集』を仮名遣から全文活字に起こし、卒論の資料編として出版します。歌集の作者は、赤穂の木綿廻船業者で幕末期播磨の文人グループの中心的存在、岩崎利記。赤穂の田淵記念館のご協力も得て、ゼミ生の調査研究は大いに成果をあげています。教授 管 宗次 (大学 日本語日本文学科/短大 日本語文化学科)

実践のリアルに向きあう遠隔演習授業を展開

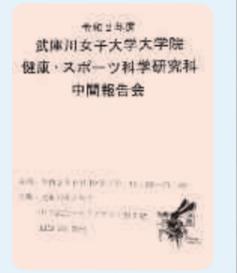
公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士養成には、実践的演習が欠かせません。遠隔授業では、学生の意欲と教員の熱意を背景に、新型コロナへの感染防止を行いながら座学の知識を総動員したロールプレイを実施しています。学生のフィールドへの思いや、地に足のついた将来への希望が感じられる授業を展開しています。教授 佐藤 安子 (大学 心理・社会福祉学科/短大 心理・人間関係学科)



バイオフィードバックの遠隔授業

健康・スポーツ科学研究科中間報告会開催!

9月19日の午後、大学院健康・スポーツ科学研究科の中間報告会が行われました。健康・スポーツ教育学、健康・体力科学、リハビリテーション科学、スポーツトレーニング科学、スポーツビジネスの各分野について、修士論文の途中経過を大学院生が報告し、活発な質疑応答・ディスカッションが行われました。大学院は昼夜・土曜開講・男女共学で、仕事をしながら、あるいは競技を続けながら研究に励む大学院生も所属しています。教授 久富 健治 (大学 健康・スポーツ科学科/短大 健康・スポーツ学科)



当日のパンフレット

“Re-light” がテーマのデジタルファッションショー

丹田佳子ゼミは毎年秋にデジタルファッションショーを行っています。今年のテーマは“Re-light”です。総勢22名が豊かな感性でデザインしました。今年は一部のドレスで榎並直子ゼミの協力の下、磁気センサーを利用したインタラクティブに光るドレスも制作しました。感染収束後、社会が“Re-light”して欲しいという思いも込めています。准教授 井上 重信 (大学 情報メディア学科)



晴れ舞台は中止になりましたが...

ビジネス資格講座、短英1年生がチャレンジ



2020年度から導入された短英の新カリキュラムでは、「ビジネス資格講座」が設けられました。今秋、秘書検定2級・観光英語検定2級・MOSより希望した資格講座を受講し、1年生全員が検定試験に挑戦しました。資格取得に向けた努力が学生の自信につながり、正課授業と共に明確なキャリアデザインを描いていく相乗効果になると期待しています。准教授 宇佐美 彰規 (大学 英語文化学科/短大 英語キャリア・コミュニケーション学科)

教育学科主催オープンゼミが開催されました

講師は、教育学科の先輩、松井香奈先生(大阪市小学校教諭)。初任地での実践「子どもの日常から創る生活科の授業づくり」が第68回読売教育賞を受賞しました。ゼミはオンラインでの開催となりましたが、学生や卒業生も参加し、たくさんの質疑応答を通して授業・学級づくりの実際を深く学びました。准教授 藤本 勇二 (大学 教育学科/短大 幼児教育学科)



教室での子どもの姿を語る松井先生

地域に根差したスポーツ施設づくりを実践!



花紙を投げて花を咲かせるリニューアルオープンのアトラクション

豊中市立グリーンスポーツセンターのリニューアルオープンに合わせ、生活環境学科の学生たちが、管理棟の命名、エントランスのデザインおよび施工、体験型イベントの企画と実践を行いました。従来の「スポーツ施設」から「笑顔で楽しく体を動かせる広場」へと公共施設を進化させるべく、実践的に取り組んでいます。准教授 伊丹 康二 (大学 生活環境学科/短大 生活造形学科)

「食産業論実習」で企業見学に行きました

将来の食産業界をリードする人材育成を目指す「食創造科学科」は、食の現場との連携を重視しています。新1年生は早速、酒造メーカーや加工工場、漁業組合、卸売市場を見学しました。学生は、食産業界の面白さや奥深さを体感できたようです。今後も、インターンシップなど実践的な学びを通じた学生の成長が楽しみです。(大学 食物栄養学科、食創造科学科/短大 食生活学科)



興味深そうに見学する学生

講師 横路 三有紀

「登録有形民俗文化財」登録記念展を開催

総合ミュージアム所蔵のきもの関連の資料群9,092点が、国の登録有形民俗文化財となったことを記念して、10月7日～12月9日、登録記念展『きもの見るモダン生活の軌跡』を再開しました。人数制限を設けながらも、多くの方にご覧いただけました。次は「阪神間モダンライフ」に関する展示を2月26日から予定しています。



「きもの見るモダン生活の軌跡」ポスター

助教 樋口 温子
(附属総合ミュージアム)

「国際女性デーMUKOJOフォーラム」開催



国際連合では1975年に、女性への差別撤廃と女性の地位を訴える日として3月8日を「国際女性デー(International Women's Day)」と制定しています。それにちなみ、令和3年3月6日に「国際女性デーMUKOJOフォーラム」を開催します。基調講演や、学生・生徒から募集した「女性の生き方を考えよう」をテーマとした投稿原稿の表彰式を計画しています。

助手 北村 恵美
(女性活躍総合研究所)

高校から「データサイエンス類型」スタート



中学校から高校までの6年間一貫した教科「情報」の授業を展開しています。「データサイエンス類型」希望者は、ドローン等を使ったプログラミングの学習、AIを使ったデータの処理や統計学の学習を行います。将来は、データの収集、分析などを通して、希望の進路に進むことができます。

アカデミア探究部 部長 山田 千香子
(附属中学・高校)

“秋”をいっぱいみつけたよ!



「きれいな葉っぱだね」

丹嶺学苑研修センターへ、4・5歳児が園外保育に出掛けました。秋晴れの心地よい自然がいっぱいの中で、色付いた葉っぱや木の実を見つけて大喜びの子どもたちでした。美味しそうに色づいた柿は、一人ひとつずつ収穫させていただきました。身近な自然に触れて遊ぶことで、心豊かな子どもに育つように願っています。

園長 金光 文代
(附属幼稚園)

楽しく美味しいカレーパーティー!



大きいニンジンや小さなジャガイモ...いろいろな形の野菜入りです



11月6日カレークッキングを楽しみました。3・4・5歳児がカレーに入れる野菜を洗ったり、皮をむいたり...包丁を使うのはもちろん5歳児です。ルーをお鍋に入れるときは「おいしくなあれ!」と魔法をかけて、とびきり美味しいカレーができあがりました。

園長 登佐 直美
(附属保育園)

アメリカ分校では、オンライン留学を開講中



楽しいオンライン授業の様子

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、英語キャリア・コミュニケーション学科の1年後期に予定していたアメリカ分校留学の中止に伴い、アメリカ分校では、「オンライン留学」を開講しています。

アメリカ分校の教員は、学生が日本にいながらでも、留学に匹敵するクオリティの高い学びをオンライン授業を通じて提供しています。

アメリカ分校副学長 中原 朗裕
(アメリカ分校)

丹嶺学苑研修センターは本年40周年を迎えます!

1981年10月に開設され、これまでの39年間で28万人以上の方にご利用いただきました。2021年は40周年記念植樹や、記念誌の発行、イベントなどを企画しています。

鳥のさえずりや季節の木々が美しい丹嶺学苑ですが、さらに年間通じて花が楽しめるような整備をすすめています。



附属幼稚園 秋の遠足から

詫摩 善子
(丹嶺学苑研修センター)

withコロナの心理・発達相談



相談に乗るカウンセラー

新型コロナウイルスの影響により閉室していましたが、7月より対面相談を再開し、オンラインでの遠隔相談も並行して実施しています。感染症対策に細心の注意を払いながら、カウンセリング、プレイセラピー、療育、PCITなど通常の相談内容を可能な限り継続してまいります。

助手 梶本 雪子
(発達臨床心理学研究所)

定例研究会「家族の絆から共生の時代へ」開催



絵本ワークショップの様子

11月14日に生活美学研究所第1回定例研究会をオンラインで開催しました。NPO法人子どもと住文化研究センターの中村孝之先生に、住まいの変化とそこに内在する共生の在り方について、北浦かほる先生に、住まいの絵本を通じた多様性の受け入れと自己主張の重要性についてご講演いただきました。また、学生の皆さんと一緒に絵本ワークショップも実施しました。

助手 井本 真紀
(生活美学研究所)

第41回 世界健康フォーラム2020開催



パネルディスカッションの様子

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン配信とDVD販売による開催で全国4800人を超える方々にご視聴いただきました。香川靖雄氏による基調講演やパネルディスカッション、またモナリザ賞受賞報告では武庫川女子大学附属高校創造サイエンスコース食育研究班が「玄米(Brown rice)摂取の栄養改善効果についての研究」を発表しました。

事務局 田中 知里
(国際健康開発研究所)

ナタマメから食素材を発見

食品栄養部門の有井研究員の研究室が、ナタマメから健康の維持・増進に役立つと期待できる2つの食素材を発見しました。筋肉の維持・増進に有用なロイシンを多く含むタンパク質と、嚥下困難者用食品への利用が期待できるゲル化物質で、特許申請中です。本件で、研究室所属の西澤助手に博士号が授与されました。



西澤果穂氏の博士学位申請公聴会

研究員 有井 康博
(栄養科学研究所)

「LCりぼーと」46号発行

大学生のSNS利用は、このコロナ禍にあってどのように変わったか。その実態を報告した「LCりぼーと」46号を、「コロナが変えたSNS—大学生のLINE使用は新型コロナウイルスでどう変わったか—」と題して発行しました。特にLINE使用について、「疎」だった人との親交復活や、トークではなく電話を活用したことなどをまとめています。

助教 岸本 千秋
(言語文化研究所)



言文研HPIにPDFを掲載しています

「医食同源」病気を予防・治療できる食品成分



ブラジルのアセロラ果実:ビタミンCが豊富

病気の治療と食事はともに人間の健康を保つためのもので、その源は同じであるという中国古来の考え方に「医食同源」という言葉があり、食事治療専門医(食医)が存在していました。皆さん、アセロラという果実を知っていますか? 私たちは、アセロラには強い抗酸化作用があり、いろんな病気への治療効果を実験的に報告してきました。その一つに網膜の病気があります。いまは白内障への効果について研究中です。

研究員 義澤 克彦
(バイオサイエンス研究所)

トルコの学生がオンラインで設計演習に参加!

本学と一般交流協定を締結しているトルコ・バフチェシル大学の学生10名が、7月3日から28日まで、オンラインで、建築学科の2~4年生たちとともに設計演習の課題に取り組みました。28日には講評会があり、それぞれの設計作品を発表しました。7月27日には、大河原理事長と瀬口学長を表敬訪問しました。



大河原理事長と瀬口学長を表敬訪問

研究員 柳沢 和彦
(トルコ文化研究センター)

今年度も好調な滑り出し、教員採用選考試験

公立学校教員採用選考試験合格者が181人(12月17日現在)となり、ここ10年で最高だった昨年度(165人)を上回りました。小学校136人・中学校28人・高校4人・特別支援学校4人・栄養教諭9人で、兵庫・大阪はじめ合格した自治体は26に及びます。また、公立幼稚園・保育所(園)の合格者数は44人(12月17日現在)です。センター長 田中 每実
(学校教育センター)



アメリカ分校 オンライン留学を体験して

新型コロナウイルスの影響を受け、2020年度のアメリカ分校への留学が中止となりました。しかし学生たちの学習意欲に応える形で、アメリカ分校教職員ならびに英文学科教員との協働で、アメリカ分校「オンライン留学」を2020年9月8日よりスタート。受講した学生3人に感想などを伺いました。



久保晴香さん

短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科1年
奈良県立高田高校出身

オンライン留学ではすべての課題に点数が付きます。お一人とても厳しい先生がいて、傾向と対策を立て、何回目かに満点を取れた時はすごくうれしかったです。



北村光さん

短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科1年
兵庫県・育英高校出身

現地の学生や高校生と交流してみても、アニメや音楽など日本の文化に多くの方が興味を持っていることが分かりました。



坂本桃花さん

短期大学部 英語キャリア・コミュニケーション学科1年
神戸市立六甲アイランド高校出身

これまでハロウィーンなどには無関心でしたが、授業で文化的なことを学ぶ中で興味を持つように。アメリカへの関心も高まりました。



——オンライン留学は、こういった授業形態で行われたのでしょうか？

久保 火曜日から土曜日の週5日間で、基本的には午前中の1限、2限の2コマがオンライン留学の時間になります。

北村 午後からは個々で課題に取り組みます。課題の数は少なくありませんでしたが、そのための時間が設けられていたので無理なくこなせました。

坂本 1セクション10人ほどのグループに分けられ、少人数での授業となります。Zoom*のブレイクアウトルーム(グループ分け)機能を使って、さらに3つのグループに分けて課題に取り組んだり、ディスカッションをしたり、テーマや先生によって様々な形態でオンライン授業は進められました。
*パソコンやスマートフォンを使って、オンライン会議を開催するために開発されたツール「アプリ」。

——具体的にどのような授業を受けられたのですか？

久保 オンラインならではの授業で言うと、はじめ、季節のイベントを取り上げた映像など、学ぶテーマに合わせて様々な動画コンテンツもあつて、興味を持って学ぶことができました。

——先生方とのコミュニケーションはうまく取れましたか？

久保 最初の頃は、うまく聞きとれずよく理解できないことが少なくありませんでしたが、1か月ほどたった頃に「明らかに違う」と自分で実感できるくらい会話がスムーズにできるようになりました。英語を学ぶのが本当に楽しかったです。

北村 授業前に先生と1対1でお話できるオフィスアワーが設けられ、こちらも積極的に活用しました。ゆつくり話せるし、分からないところを相談したり、アクセントのちよつとした違いを指摘してもらったり、授業外でもしっかりとコミュニケーションが取れたと思います。

坂本 動画やゲームなど、様々な企画を先生方が準備してくださり、毎回授業は楽しく受講できました。ゲストスピーカーとの会話を通して、アメリカの普段の生活の話などを伺えたのも良かったです。

——語学のスキルは向上しましたか？

北村 全体的に英語力が向上したと思います。特にリスニングはすごく伸びました。
久保 課題に取り組む際に、最初の頃はGoogle翻訳を利用していましたが、途中から

例えば先生のお友達でニューヨーク在住の方など、場所にとらわれずいろいろなゲストスピーカーが登場してくださいました。

坂本 私たちのセクションでは、先生の親戚の方が自宅からゲストスピーカーとして登場。ちよつどハロウィーン前で、スマホのカメラで玄関に置かれた大きなカボチャや室内の飾り付けなどを見せてくださり、楽しいのはもちろん文化的な理解も深まりました。

北村 ゲストスピーカーのほか、アメリカの高校生たちと一緒に授業を受ける機会も。Googleスライド(プレゼンテーションソフト)で資料を作成し、お互いの文化や生活を紹介していました。

久保 Kahoot(カフート)というアプリを使った課題もありました。2~4択の早押しクイズができるアプリで、先生が作成された英語の文法や授業の内容に関する問題などが出されます。

北村 早さと正確さを競い、1問を数秒で回答し、1回の課題で10~15問を解きます。終了後すぐにスコアとセクション内の順位が出るので、やる時は気合が入ります(笑)。
坂本 サンクスギビングデー(感謝祭)をは

らは自分で考えて文章を作っていく方が早いと感ずるようになります。それだけ成長できたのかなと思います。

坂本 スポークン市の動画を見て感じたことなど、与えられたテーマについての感想を250単語でまとめるという課題がありました。当初は難しいと感じましたが、途中からすらすら書けるようになったので、英語を伝える力が上がったと思います。

——コロナ禍が終息した場合、2021年秋に希望者を対象に1年遅れで留学を実施する方針が発表されています。

久保 私は外部への編入学を考えていて、試験に合わせた勉強や面接練習などもあるので定期的になんとも言えませんが、行けるのであれば参加したいですね。

坂本 私もその時の自分と社会の状況次第ですが、現地に行つてアメリカの文化を肌で感じてみたいです。

北村 昨年体験された先輩がSNSに上げられていた画像などを見ると楽しそう、やっぱり行きたい気持ちは強いですね。リモートで現地の先生とも仲良くなれたし、実際に行くことが叶うと、より交流を深めることができると思います。



オンライン留学は、
●日本の学びとスタイルが違い、新鮮でした。
●アイデアの面白さ、独自性、察する力などが評価されたと感じました。
●思っていたよりも、留学体験を実感できました。



12月15日メディアホールで修了式が行われ、93人に修了証書が授与されました。

アメリカ分校

日本

オンデマンドの授業では、「先生の話すスピードが速くて聞き取れなかったところを何度も繰り返し確認することができ、その点は良かったです」といったメリットも。

浜甲子園キャンパス 薬学部に 新型コロナウイルス PCRセンター設置



2020年11月2日、薬学部の総合薬学教育研究棟内に新型コロナウイルスの「武庫川女子大学PCRセンター」が開設されました。新型コロナウイルス感染拡大に対する学生・教職員の不安を解消し、新しい生活様式に沿った安全・安心な教育環境を確立するのが目的です。

武庫川学院の全学生・生徒および教職員の無症状者が対象です。まずは学外実習や課外活動などで緊急性を要する学生を中心に12月からPCR検査を実施。コロナ禍で実習先等から陰性である証明を求められるケースなどがあったため、学内でPCR検査を行い、検査結果報告書を出せる体制を整えました。検査費も抑え、「いつでも、何回でも」をモットーに、必要が生じた際は緊急の対応にも応じますので、学生の皆さんには気軽にご利用いただければと篠塚和正PCRセンター長（薬学部長）。2021年1月以降は全学を対象にPCR検査を本格化させ、将来的には地域の安全・安心を提供するものとして社会貢献を目指します。

検査方法は本学独自のものです。採取した唾液を加熱により不活化処理します。その後、専用スポンジに染み込ませ、乾燥させてPCR検査を行います。既存の検査法では検体を液体で管理しますが、乾燥させることで保管がしやすく、検査スタッフの負荷を軽減し、検査件数を増やすことができます。

目的

もっと安全でもっと安心な
キャンパスを目指して



学外実習



教育環境



課外活動



就職活動



研究環境



地域社会



1

唾液キャッチャーを口に含み、唾液を採取。



2

加熱により、不活化処理を行います。



3

専用のスポンジに処理した検体を滴下して染み込ませます。



4

常温で翌朝まで乾燥。



5

パンチャーで検体を小片にカットします。



6

最新鋭のRealtime PCR装置で、回収した検体の検査を行います。現状は1日約100件検査可能、最終的には1日1000件程度の検査を目指します。

総合薬学教育研究棟



「武庫川女子大学PCRセンター」
薬学部の総合薬学教育研究棟の1階、
専用スペースに開設

※検査費用は初回無料で、2回目以降は4,000円。実習などで複数回の検査を要する学生は1回2,000円に設定されています。

OGに聞く

This is ME!

夢のムコーガワ



日本語教師

尾崎有以さん

Ozaki Yui

文学部日本語日本文学科2014年卒業
大学院文学研究科日本語日本文学専攻修士課程2018年修了
大阪府立金剛高校出身

日本語教師として、大学などで海外からの留学生を指導。難しく、奥深いからこそチャレンジするのが楽しい。

日本語教師を目指すきっかけは、我が家にやってきた留学生

尾崎さんが「外国人の方と接する仕事」に興味を持ったのは小中学生の時。実家がホストファミリーとして留学生を二度受け入れ、アメリカ人、デンマーク人の高校生が自宅にやってきたのがきっかけだった。「生活を共にし、一緒に遊んだりしているうちに自然と交流でき、仲良くなっていました」。英語が得意というわけではなかったが、海外と関連する仕事を調べていた時に、インターネットで見つけたのが日本語教師だった。資格が取れる大学を探し、本学の日本語日本文学科へ。就職課程（国語）も履修し、教えることにはまず興味を持ったが、日本語教師の教育実習での悔しい体験が今の仕事を選択する決め手となった。

「実習で思うように教えることができず、改めて外国人の方に日本語を教えることの難

頑張る学生たちの存在が仕事の原動力に

大学卒業後、大阪の日本語学校に就職。日本の大学への進学を志望する外国人の方を対象とした、いわゆる「受験のための日本語」の指導が中心だった。同じ頃、就職先からの派遣で大学に講師として赴く機会もあり、「この経験から大学でも教えたいと思うようになり、大学院進学を考えるきっかけにもなりました」と当時を振り返る。

学部生時代の恩師の後押しもあり、本学大学院に進学。仕事と並行して通学し、修士論

文では日本語教師をテーマに取り上げ、スポーティ・フォールズ・コミュニケーション・カレッジ（ワシントン州スポケーン市）での3か月間の日本語教育実習にも参加した。修士課程を修了したことで、大学で働く機会にも恵まれ、現在は大阪観光大学、大阪経済法科大学、関西経理専門学校の非常勤講師として活躍。また、夏季・冬季休暇には本学国際センターが留学生向けに開講する「S-J (Study in Japan)」や関西大学で短期講座の講師も担当している。

「現在1クラス約20名の授業を複数受け持ち、授業の準備や課題の添削など大変なことはあります。それを乗り越えられるのは、日本語をマスターしようと必死で取り組んでいる学生たちの存在があるから。頑張っている彼らに伝えるために私も全力を尽くし、その中でお互いが成長していけるのが仕事の魅力になっています」

大学での論文作成を目的とする学生への指導が中心だが、時には日常会話レベルの講義を受け持つことも。毎回同じ学生でないのはもちろん、求められることも違うので、一律ではない個々のニーズに合わせた対応を常に心掛ける。そんな数多くの教え子たちと一緒に、尾崎さんの日本語への挑戦はこれからも続いていく。



SNJの授業の様子。画一的な内容ではなく、相手が求めているものを常に意識しながら授業を展開するようにしています。

Turning Point

初めての海外留学を機に、「主体的に動ける自分」に変身！



大学2年生の春休みに本学アメリカ分校での海外文化体験に参加。やりたいことに邁進する現地の大学生たちとの交流を通じて、多くの刺激をもらいました。帰国後は学内で行われる留学生との交流イベントにはすべて参加するなど、積極的に行動できるようになりました。



自宅にホームステイしていた留学生と一緒に。この時の体験が、日本語教師を目指す原点になりました。留学生とは今もSNSで交流を続け、数年前には彼女が住むデンマークを訪問。(右から2人目が本人)

例えば、助詞の「は」と「が」の使い分けなど、留学生に質問されて、改めて日本語の難しさに気付かされる毎日です。その奥深さが面白くもあり、日本語への探究心は尽きることがありません！





武庫川 就職 掲示板

気になる就職活動の“今”をお伝えするコーナー。

コロナ禍の就職活動の現状と、 キャリアセンターの取り組みについて

就職活動にも深刻な影響を与えた新型コロナウイルス。「就職掲示板」特別編として、今回はキャリアセンターの職員2人に、コロナ禍での就職活動の現状をはじめ、学生へのサポートや今後の取り組みなどについて伺いました。

「Withコロナ就活」もじっか
りサポート！オンラインと対面
の支援でより効率的に

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、就活生を取り巻く環境も大きく変化しました。

企業を本学に招いて開催する合同業界研究会・企業説明会を毎年2月、3月に開催していますが、2020年3月開催分は中止に。以降、企業の採用活動が中断・中止になったり、企業説明会や選考がオンラインに切り替わったりと、急速にオンライン化が進みました。キャリアセンターが行っている就職相談や各種ガイダンスなどもオンラインに切り替え、支援が途切れないように取り組んできました。中でも、新しく取り入れたオンライン面接時のポイントを伝える講座や「動画面選考対策講座」に参加した学生からは好評を得ています。

ラインと併用する形で対面でのサポートを再開しました。模擬面接やエントリーシートの仕上げ、先輩との就活相談会など、対面の方がメリットがある実践的な講座は対面で実施しています。

企業の採用担当の方に今後の動向を伺つと、会社説明会や1次面接はオンラインを活用し、2次面接や最終面接などは対面で実施したいという声が多く聞かれます。学生の皆さんがどちらのケースでも対応できるように、模擬面接の講座はオンライン版と対面版の2つのプログラムを用意しています。

オンラインのメリットの一つは、ガイダンス動画をオンデマンド配信することで、いつでもどこでも受講ができるようになったこと。今まで授業と重なりガイダンスに参加できなかった学生も、視聴できる機会が増えました。最新の支援内容を拡充させた上で類似の講座を整理し、より分かりやす



各種ガイダンス・講座の動画コンテンツは、本学専用の研究教育用ドメイン「mwu.jp」内にあるGoogleクラスルームにアップ。学生はスマートフォンやパソコンから、場所や時間の制限なく気軽にアクセスすることが可能です。

<2020年度参考 動画配信一覧> (11月現在)

- 印象力UP講座
- 動画選考対策講座
- 会社四季報・就職四季報の活用法
- 就活ブラッシュアップセミナー
- 面接で使えるコミュニケーションUP法
- 筆記試験突破！概要編
- 90分でわかる！「業界研究・企業研究」を徹底解説！
- 就活をはじめの人のための特別講演会

キャリアセンター キャリア支援課 課長補佐

内藤 裕美さん

就職部就職課(現・キャリアセンターキャリア支援課)、入試センター庶務課を経て、2020年4月から現職。講座やガイダンスの企画をはじめ、企業との折衝なども手掛ける。



くタイムリーな情報提供ができるよう、現在準備を進めています。

コロナ禍で、早期からの活動が重要に

就職活動は少しでも早く取り掛かることが重要ですが、「コロナ禍ではよりその傾向が強まっています。まだ行動に移せていないけれど、「何かやらなければ」と気になっている人も少なくないでしょう。今はインターネットを利用して手軽に多くの情報を得られますが、自らの足を運んで得た情報や経験はどれも貴重です。就職活動の第一歩として、キャリアセンターの活用をおススメします。今後も様々な取り組みで学生の皆さんを支えていきますので、いつでも気軽ににお越しください。スタッフ一同、お待ちしております。



オンラインでのガイダンス、講座を多数開講しています。次年度以降もさらに拡充していく予定ですので、ご利用ください。

キャリアカウンセラーに聞きました

緊急事態宣言下でも、オンラインでキャリア支援を継続

緊急事態宣言を受け、前期授業の開始日が5月8日になりました。しかし、緊急事態宣言翌日の4月8日にはオンラインカウンセリングをスタート。就職活動が突然止まってしまう、自宅を何をごっついたらいいのかわからない不安になっていた学生への支援を継続することができました。

採用を中止・縮小した業界や企業を志望する学生の不安、落ち込みに対するケアや励ましはもちろん、オンライン上での画面共有によるエントリーシートの添削などにも対応。お昼休みにはミニガイダンス「チャット☆就活」ランチャタイムにみんなの就活をちょっとのぞいてみよう」を実施し、キャリアカウンセラーに気軽に質問ができて、かつ学生同士が情報共有できる場を設けました。

オンラインでの対応が始まった当初は、学生たちも私たちも不慣れで戸惑いもありましたし、対面での面談と比べて、細かい表情の変化が分かりづらいこともありました。それ

でも、対面時と変わらないサポート内容を提供できたと自負しています。

オンライン面接の対策も、リアルタイムで具体的にアドバイス

相談内容として多かったのはオンライン面接の対策で、照明の当て方やカメラの角度など細かくアドバイスをを行いました。対面の面接の時よりも、画面上の様子や声に気を配ることが重要です。背景もポスターが貼ってあったり、雑然としていたりすると面接時の印象は良くないので、オンラインでカウンセリングを行っている際に具体的に指摘していきます。

企業研究に関しては、コロナ禍ということもあり、インターネットでの情報収集が基本になると思いますが、インターネットだけではすべてを把握できません。説明会などを対面で実施している企業もありますし、状況的に可能であれば感染対策をしっかりと取った上で会社に足を運び、自身の五感を使って情報を収集してみてください。実際に「企業のホームページ」だけでは、よく分からない

と相談してくる学生がいます。そこで立ち止まってしまつたのではなく、自らアクションを起こすことが大切です。これは平常時でもコロナ禍でも同じです。常に能動的な姿勢を忘れず、一緒に就職活動に取り組んでいきましょう。

お気軽にご相談ください

キャリアセンター キャリア支援課 キャリアカウンセラー

九鬼 香織さん

航空会社でキャビンアテンダントとして従事。退職後、マナー・キャリア支援講師を経て2017年から現職。キャリアカウンセラーとして、学生の個別相談に対応する。





学生・生徒の活躍

日々の努力が生み出した、
華々しい受賞結果をご報告



大学・短大

カヌー部

- 令和2年度日本カヌースプリント選手権大会(石川9月)
 - 個人 WC-1 200m 4位 小林 実央
 - 個人 WC-1 200m 8位 竹崎 杏
 - 個人 WC-1 500m 2位 小林 実央
 - 個人 WC-1 500m 5位 竹崎 杏
 - 個人 WK-1 200m 6位 原 綾海
 - 個人 WK-1 200m 9位 平尾 和奏
 - 個人 WK-1 500m 3位 原 綾海
 - 個人 WK-1 500m 9位 梅原 佐公
 - 個人 WK-2 200m 4位 井崎 里美、大川 七南
 - 個人 WK-2 200m 5位 高橋 星菜、西村 優紀
 - 個人 WK-2 500m 1位 栗原 萌衣、丸岡 凜子
 - 個人 WK-2 500m 2位 福田 りん、吉田 奈未
- 第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会(石川9月)
 - 団体 女子総合 1位
 - 団体 女子カヤック部門 1位
 - 団体 女子カナディアン部門 1位
 - 個人 WC-1 200m 1位 小林 実央
 - 個人 WC-1 200m 4位 阿部 寧華
 - 個人 WC-1 500m 1位 竹崎 杏
 - 個人 WC-2 500m 1位 小林 実央、竹崎 杏
 - 個人 WK-1 200m 1位 平尾 和奏
 - 個人 WK-1 200m 3位 諏訪 智美
 - 個人 WK-1 500m 3位 梅原 佐公
 - 個人 WK-1 500m 5位 樋渡 千歩
 - 個人 WK-1 Relay 4×500m 1位 福田 りん、樋渡 千歩、平尾 和奏、梅原 佐公
 - 個人 WK-2 200m 2位 福田 りん、吉田 奈未
 - 個人 WK-2 200m 7位 高橋 星菜、西村 優紀
 - 個人 WK-2 500m 1位 栗原 萌衣、丸岡 凜子
 - 個人 WK-2 500m 5位 井崎 里美、大川 七南
 - 個人 WK-4 500m 1位 福田 りん、樋渡 千歩、吉田 奈未、平尾 和奏
 - 個人 MVPカナディアン部門 小林 実央、竹崎 杏
 - 個人 MVPカヤック部門 平尾 和奏
- 令和2年度全日本カヌーマラソン選手権大会兼2021ICF世界カヌーマラソン選手権大会一次選考会(京都10月)
 - 個人 WC-1 9000m 1位 西分 友貴子
 - 個人 WK-1 15,000m 1位 丸岡 凜子、2位 栗原 萌衣

陸上競技部

- 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会(新潟9月)
 - 個人 三段跳 3位 船田 茜理
 - 個人 走高跳び 2位 渡川 和華
 - 個人 女子棒高跳 2位 野志 侑希
- 第97回関西学生陸上競技対校選手権大会(大阪10月)
 - 個人 棒高跳び 1位 野志 侑希
 - 個人 女子10000m 競歩 1位 藪田 みのり

水泳部

- 第96回日本選手権水泳競技大会(新潟9月)
 - 個人 女子高飛込 1位 荒井 祭里
- 第96回日本学生選手権水泳競技大会(大阪10月)
 - 個人 女子高飛込 1位 荒井 祭里

体操部

- 第74回全日本学生体操競技選手権大会(広島10月)
 - 団体 団体総合 2位
 - 個人 個人総合 1位 杉原 愛子、10位 土橋 ココ
 - 個人 種目別 平行棒
 - 1位 杉原 愛子、5位 土橋 ココ、6位 刀根 綾菜、8位 安井 若菜
 - 個人 種目別 ゆか
 - 1位 杉原 愛子、6位 河崎 真理菜
 - 個人 種目別 跳馬
 - 1位 杉原 愛子、7位 前川 なつみ

新体操部

- 第72回全日本学生新体操選手権大会(広島10月)
 - 団体 女子団体総合 2位
 - 団体 フープ・クラブ 2位
 - 団体 ボール 2位
- 第73回全日本新体操選手権大会(群馬11月)
 - 団体 総合 2位
 - 団体 種目別ボール5 2位
 - 団体 種目別フープ3・クラブ2 3位

バレーボール部

- 関西大学ビーチバレーボール男女選手権大会(兵庫8月)
 - 団体 ビーチバレー 1位

日本舞踊部

- 全日本きもの装いコンテスト(兵庫11月)
 - 団体 学校対抗の部 1位

競吟《個人》

- 令和二年度全国新人・中間層競吟大会(兵庫11月)
 - 個人 初級之部 会長杯 優勝 今井 紀子
 - 個人 初級之部 月城杯 優勝 今井 紀子

中学・高校

放送部

- 第44回全国高等学校総合文化祭(高知8月)
 - アナウンス部門 文化連盟賞 高校2年/金山 未来
- 2020兵庫大会記念高校放送コンテスト(兵庫8月)
 - 朗読部門 優秀賞(3位) 高校3年/重見 佳奈
 - ラジオドキュメント部門 優秀賞(3位)
- 令和2年度兵庫県立こどもの館朗読コンクール(兵庫11月)
 - 中学生の部 NHK神戸放送局賞 中学3年/武村 紗希
- 第44回兵庫県高等学校総合文化祭(兵庫11月)
 - 朗読小部門 金賞(1位) 高校2年/金山 未来
 - ラジオドキュメント部門 銅賞(3位)

コーラス部

- 2020年度兵庫県合唱コンペティション(兵庫9月)
 - 金賞 及び 講評委員特別賞/中学校・高等学校
- 第16回アンサンブル・フェスティバル兵庫2020(兵庫9月)
 - 「おほしさま」兵庫県教育委員会賞/高校3年
 - 「pop star」兵庫県音楽活動推進会議賞/高校2年
 - 「Love wings」奨励賞/高校3年
 - 「chocolate」奨励賞/中学3年

書道部

- 第44回全国総合文化祭 優秀作品展(10月)
 - 朝日新聞社賞・奨励賞 高校3年/澤 まり
- 第44回兵庫県高等学校総合文化祭兼第66回兵庫県高等学校書道展(兵庫11月)
 - 高等学校文化連盟会長賞 高校3年/山部 菜凜
 - 全国総合文化祭推薦賞 高校2年/安田 弥生
 - 優秀賞 高校1年/竹内 真悠

陸上部

- 兵庫県高等学校コース陸上競技対校選手権大会(兵庫8月)
 - やり投げ 3位 高校1年/岡本 茜

水泳部

- 第63回兵庫県高等学校ジュニア選手権水泳競技大会(兵庫9月)
 - 50mバタフライ 2位 高校2年/大橋 鈴羅

器械体操部

- 兵庫県中学校体操競技新人大会(兵庫10月)
 - 団体 1位
- 兵庫県高等学校体操競技新人大会(兵庫11月)
 - 団体 2位
 - 跳馬 2位 高校2年/平岡 ひなた

新体操部

- 兵庫県高等学校新体操新人大会(兵庫11月)
 - 団体 Aチーム 3位
- 第44回兵庫県中学校新体操新人大会(兵庫11月)
 - 団体競技 ボールの部 2位

マーチングバンド部

- 第42回マーチングバンド関西大会(大阪11月)
 - 全国コンテスト部門 高等学校小編成の部 金賞
 - (中学生も一緒に高等学校の部に出場しています)

バントワリング部

- 第42回バントワリング関西大会(大阪11月)
 - 中学校の部 銀賞 高等学校の部 金賞

バドミントン部

- 兵庫県高等学校新人バドミントン選手権大会(兵庫11月)
 - 団体の部 3位

柔道部

- 第69回兵庫県高等学校新人柔道大会(兵庫11月)
 - 団体 3位
 - 個人 48kg級 1位 高校2年/西川 明夢
 - 3位 高校2年/鹿原 柚香
 - 52kg級 1位 高校2年/山下 葵生
 - 63kg級 2位 高校2年/佐々木 優衣
 - 70kg級 3位 高校2年/音 星衣来

カヌー部

- 兵庫県総合体育大会代替 高等学校カヌースプリント大会(兵庫8月)
 - 女子カヤックシングル500m 1位 高校2年/富澤 侑彩
- 兵庫県高等学校カヌースプリント新人大会(兵庫10月)
 - 女子カヤック500m wk-1 1位 高校2年/富澤 侑彩
 - wk-2 1位 高校2年/富澤 侑彩、佐々木 碧海
 - 女子カヤック3000m wk-1 1位 高校2年/富澤 侑彩
 - 2位 高校2年/佐々木 碧海

馬術《個人》

- 第74回兵庫県民馬術大会(兵庫7月)
 - 第4競技 中障害飛越C 標準形式 3位 高校3年/棟安 歩裕実
 - 第16競技 中障害飛越C Final 3位 高校3年/棟安 歩裕実

スピードスケートショートトラック《個人》

- 第13回全日本ノービス&ジュニアカップショートトラックスピード選手権(茨城11月)
 - ノービスA女子総合 3位
 - ノービスA女子500m 3位 中学2年/木南 更紗
- 第66回西日本ショートトラックスピード選手権(兵庫11月)
 - 500m準決勝、1000mB 決勝、1500mB 決勝 総合12位 中学3年/羽根 美夢希

その他《個人》

- 令和2年度「税についての作文」
 - 中学校の部 西宮納税貯蓄組合連合会会長賞 中学3年/渡邊 佳鈴
 - 高等学校の部 西宮税務署長賞 高校3年/寺崎 千里佳
 - 西宮市長賞 高校3年/竹内 鈴花
 - 西宮・宝塚租税教育推進協議会賞 高校3年/鈴鹿 寧々
 - 西宮納税協会会長賞 高校3年/天野 珠璃
- データサイエンスコンテスト(兵庫10月)
 - 2位 高校2年/岡村 美月
- 第31回伊藤園「おーいお茶 新俳句大賞」
 - 佳作特別賞 高校3年/瀧 小夜子、寺崎 千里佳
 - 中学2年/入江 陽菜
- 第42回少年の主張 兵庫県大会(兵庫9月)
 - 審査員特別賞 中学3年/元浦 綺花

スペースの都合上、代表的な成績を抜粋しています。記載されている学年は受賞時のものです。大学・短大運動部の成績はスポーツセンターのホームページおよび健康・スポーツ科学科公式サイト内のブログ「MWU-Athletics.com」、中高生徒の活躍は毎月発行される「中高だより」にも詳しく掲載されています。

THE WISDOM



Vol.18-March2020

著者名 清水 利宏
出版者 武庫川女子大学文学部英語文化学科英語スピーチ・プレゼンテーション研究室
出版年 2020.03
寄贈者 清水 利宏(英文)

情報システム調達の政策学



マイナンバーシステム調達における実態と課題

著者名 金崎 健太郎
出版者 関西学院大学出版会
出版年 2020.03
寄贈者 金崎 健太郎(経営)

評伝ウィリアム・フォークナー



著者名 ジョエル・ウィリアムソン、梅垣 昌子(ほか訳)
出版者 水声社
出版年 2020.02
寄贈者 松原 陽子(英文)

ヴィクトリア朝のもの



著者名 エイザ・ブリッグス、玉井 暉
出版者 国文社
出版年 2020.04
寄贈者 玉井 暉(英文)

評伝J・G・フレイザー



その生涯と業績. 上

著者名 ロバート・アッカーマン、小松 和彦、玉井 暉
出版者 法蔵館
出版年 2020.07
寄贈者 玉井 暉(英文)

評伝J・G・フレイザー



その生涯と業績. 下

著者名 ロバート・アッカーマン、小松 和彦、玉井 暉
出版者 法蔵館
出版年 2020.07
寄贈者 玉井 暉(英文)

数学教育研究の地平



岩崎秀樹先生
退官記念論集

著者名 馬場 卓也、阿部 好貴、大滝 孝治
出版者 ミネルヴァ書房
出版年 2019.12
寄贈者 神原 一之(教育)

宮澤賢治著『春と修羅』総索引



著者名 山口 豊
出版者 武蔵野書院
出版年 2020.08
寄贈者 山口 豊(教育)

現代資本と中小企業の存立



CSR,経営品質,
ソーシャル・イノベーション

著者名 久富 健治
出版者 同友館
出版年 2015.06
寄贈者 久富 健治(健スポ)

銀行業と政治経済システム



国家・市場・環境

著者名 久富 健治
出版者 時潮社
出版年 1998.05
寄贈者 久富 健治(健スポ)

自ら学ぶ道德教育



「特別の教科道德」対応

著者名 押谷 由夫
出版者 教育情報出版(2017年9月より
保育出版社と合併)
出版年 2016.10
寄贈者 押谷 由夫(教育研究所)

あなたの今が未来を創る



暮らしのマネジメント

著者名 日本家政学会生活経営学部会
関西地区会
出版者 日本家政学会生活経営学部会
関西地区会
出版年 2020.07
寄贈者 吉井 美奈子(教育)

マレーシアにおける
多民族混住の構図



生活空間にみる
民族共存のダイナミズム

著者名 宇高 雄志
出版者 明石書店
出版年 2009.02
寄贈者 宇高 雄志(生活環境)

住まいと暮らしからみる
多民族社会マレーシア



著者名 宇高 雄志
出版者 南船北馬舎
出版年 2008.06
寄贈者 宇高 雄志(生活環境)

南方特別留学生ラザクの「戦後」



広島・マレーシア・ヒロシマ

著者名 宇高 雄志
出版者 南船北馬舎
出版年 2012.07
寄贈者 宇高 雄志(生活環境)

BookCenter
CULTURE
RANKING

売れ筋ランキング@大学ブックセンター(紀伊國屋書店に委託)調べ2020年9月～11月の売れ上げを基に集計

BOOK TOP 10

1. 鬼滅の刃 1巻～23巻/吾峠呼世晴/集英社
2. あきない世傳金と銀 九 淵泉篇/高田郁/角川春樹事務所
3. 罪の声/塩田武士/講談社
4. そして、パトンは渡された/瀬尾まいこ/文藝春秋
5. 82年生まれ、キム・ジヨン/チョ・ナムジュ/筑摩書房
6. マスカレードナイト/東野圭吾/集英社
7. ルポ教育困難校/朝比奈なを/朝日新聞出版
8. 思考の整理学/外山滋比古/筑摩書房
9. ケーキの切れない非行少年たち/宮口幸治/新潮社
10. 日本製/三浦春馬/ワニブックス

MAGAZINE TOP 10

1. Myojo
2. AERA
3. anan
4. ちっこいMyojo
5. 週刊TVガイド
6. ザ・テレビジョン
7. POTATO
8. ポポロ
9. WiNK UP
10. Can Cam

CD&DVD TOP 5

1. 嵐
[ARASHI Anniversary Tour 5×20]
2. Snow Man
[KISSIN' MY LIPS/ Stories]
3. NEWS
[NEWS LIVE TOUR 2019 WORLDISTA]
4. 嵐
[This is 嵐]
5. 高橋真梨子
[高橋千秋楽]

武庫川女子大学提供 ラジオ番組



湊かなえの
ことば **結び**

EVERY WEDNESDAY
20:00 - 20:30 ON AIR



毎週水曜日 20:00~20:30
DJ: 湊かなえ/アシスタント: 塩田 えみ

創立80周年記念の書籍・DVD発行



武庫川学院創立80周年を記念して発行する「武庫川学院八十年史」と「資料編」、「卒業生文集」、「武庫川学院創立80周年記念DVD」がそろいました。いずれも多数の学生や卒業生の声があふれ、100周年に向かう飛躍のエネルギーが詰まっています。

「武庫川学院八十年史」は、本史とともに、学生が授業で手がけた「わたしたちの80年史」がセットになっています。「資料編」は本史掲載の資料を独立・充実させた別冊です。「卒業生文集」は高等女学校一期生から2013年卒まで卒業生30人から寄せられた原稿を掲載。記念DVDには、八十年史編纂と連動して開催した卒業生座談会5回分と2019年11月に実施した創立80周年記念式典のダイジェストなどを収めています。

学内のイベント等でご覧いただく機会を設ける予定です。図書館でも貸出、閲覧が可能。武庫川学院の歴史を概観する資料として、また、学生が母校について学ぶ母校教育の教材として、長く受け継いでいきます。

本学のURL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>



広報室 twitter
<https://twitter.com/MWULavy>



広報室 Instagram <Mukogress>
<https://www.instagram.com/mwu.mukogress/>



Facebookページ
<https://www.facebook.com/MWULavy>

QRコードの読み取り機能がある携帯またはスマートフォンをお持ちの方は、それぞれのQRコードをご利用ください。

一生を描ききる女性力を。

**MUKOJO
ACTION**

2019-2039